

「旧第4通学区の高校の将来像について意見・提案書」に対するご意見

シート	ご意見
1	<p>「意見・提案書(案)」内の該当ページ（8ページ、17ページ他） 8ページ1「高校改革～」長野市南部と千曲市に適正数、規模の大きさを活かした都市部存立普通校を配置する・・・学びの場の保障の観点も踏まえながら中山間地存立校の設置、また、総合技術高校の設置等により専門教育の維持充実を検討・・・とある。 地元子どもたちが遠距離通学しなくとも、旧第4通学区内に魅力を感じる高校をつくる必要がある・・・。</p> <p>現在、坂城高校は中山間地存立校として地域子どもを地域で育てるという観点から地域連携型学習の実現、オンライン授業の充実、少人数教育のメリットを生かし、取り組んでいる。全職員(チームさかき)による生徒支援体制で生徒一人ひとりの学びを支え成長を促す評価の実現を実践している。この坂城高校が成果をあげるにより、この地域になくはならない存在になります。私も地域連携学習として1年生全員を地元の葛尾城跡(805m)まで案内しました。地元の勇将村上義清や坂城町の歴史・文化の解説をし、地域に愛着を感じ、自分で一歩踏み出す学びのお手伝いをしています。どうか成果をあげ、地元の中学生在が大勢、進学を望むような坂城高校となることを切に願います。</p>
2	<p>「意見・提案書(案)」内の該当ページ（8ページ、17ページ他） 現在、坂城高校は中山間地存立校として地域子どもを地域で育てるという観点から、地域連携型学習の実現、オンライン授業の充実、少人数教育のメリットを生かし、取り組んでいる。坂城高校の半数以上が就職するのだから小規模校の特性を生かし一人ひとりに行き届いた指導をし、社会人として即戦力となれるような人材育成を目指すことを地元企業や地域の人と連携した人づくりの実践をめざしたらどうでしょうか。</p>
3	<p>松代地域には城下町として歴史的な資源が豊富にあります。又公共機関の県警察学校、機動隊、農業大学校、そして長野松代総合病院等各種の福祉施設もあります。南部地区の専門校として通学区全体の均衡の取れた高校配置が重要だと思います。地域社会に根差した学校としてどうしても必要です。将来的な観点のご判断をよろしくお願い致します。</p>
4	<p>「意見・提案書(案)」内の該当ページ（10 ページ） 意見書では、多部制・単位制の設置について記載され、設置場所については北信地域を望む声と、旧4通地域を望む声が併記されました。 最後に「合わせて多様な学びを保障する観点から、夜間定時制の適正な配置を要望する」とありますが、これが多部制・単位制の設置と従来の定時制の統廃合とリンクさせるものでないことを希望します。現在の定時制には少人数という点と、通しやすい場所にあるからこそ通えている生徒が多く、集約して大規模化した(定時制)高校では学びが保障されない恐れがあります。「多様な学びの保障」には、規模が小さく、通いやすいところにある夜間定時制の存在が重要です。この点について生徒の立場になって配慮していただきたいと思えます。</p>
4	<p>「意見・提案書(案)」内の該当ページ（11 ページ） 「全県の公私連絡協議会での調整につづき、北信地域の公私連絡協議会の実施と調整を強く望みます。」とあります。 協議会では「入試の日程について話し合うために」北信地域の連絡協議会の実施と調整を希望するとの意見で、最終的に文言が追加されました。しかし、全県の公私連絡協議会は募集定員について議論する場であり、入試日程についての意見交換の場ではありません。高校の将来像を考える協議会の意見・提言として、何を求めているのか不明で、削除したほうがよいと考えます。</p>
5	<p>更農は交通便がよく通学が非常によい。創立110周年を越え有能な人材を輩出している。今後は技術校として統合もやむなし。更農においては地域と連携した取組み、地域産業の発展に寄与する教育的農業科目の取り入れ、(AI、コンピューター、パソコン、スマホ等)によるワクワクする学科の取り入れ、4学科8コース見直しなど、男女共同参画を一層推進するための教科の設立など、各種免許・資格など取得、以上を鑑みて総合技術校として校名については更級を取り入れてもらいたい。</p>

シート	ご意見
6	<p>8p 2-(1) 生徒減による統廃合は、記載の通りだと思います。ただ、統合をする場合には、旧第4通学区全体の地域バランスを考え偏りの無い配置が図られることを望みます。</p> <p>9p (2) 改革の必要性の記述については、踏み込みが足りないと思います。改革の方向性を示して欲しかった。文科省でも今日の普通科の在り方を見直そうとしています。例えば、進学中心の普通校、その他普通校と大きく分け、その他普通校には、普通科目のみでなく将来を見つめた職業科目の必修化も取り入れる必要があるのではと考えます。中学生が進路決定に際し、とりあえず普通科という選択に、今以上に目的意識や進路への自覚をもった進路決定をするための教育内容の検討が求められるのではないのでしょうか。(13pは一部の高校の姿、ここでは全体の普通科高校についてです。)</p> <p>9p (3) ③では専門学科内での相互選択を求められていますが、今求められているのは普通科と同じような専門性の追求だけでよいのでしょうか。むしろ、基礎基本としての普通科目の充実無くして専門性を深めていくことは出来ません。その観点から総合技術高校ではなく、普通科・専門科目を設置した総合制高校の存立を望みます。お互いの科を超えた大幅な選択制の導入です。12pに書かれている時代に合った新設科目の設置については、幅広いニーズに対応するため多様な選択肢が必要と考えます。特に商業科に対しては選択幅を広げるべく小学科の設置拡充を強く望みます。</p> <p>10p 多部制・単位制高校の設置については北信地域全体で考えることはご指摘の通りだと思います。ただ単に交通の利便性だけでなく、通う生徒の立場から考えると、旧第4通学区は北信地域の南部に位置し、広範囲の生徒が短時間で通える場としては、中心地である旧第3通学区内に設置することが妥当ではないかと考えます。</p> <p>11p 私学との関係について。公私の経済的負担減は、私学への進学希望者の増加の大きな一因だと思います。かつては(現在どうなっていますか)、入学者定数に対する公私の比率がありました。魅力ある学校づくりを目指すことはもとより、私立高校との定数に対する調整が必要であります。</p> <p>12p 教育条件整備については、前段で多くの改革が述べられていますが、進めるためには、多くの教員の配置無くて出来ません。多様な選択科目や多くの学科の設置には教育予算の拡充無くして進めることは難しいのではないのでしょうか。記述では「進展していくことを期待します。」となっていますが、そのような消極的な表現ではなく、少なくとも「積極的な支援を(強く)望みます」程度の表現でありたい。</p>
7	<p>「意見・提案書(案)」内の該当ページ (9～10 ページ)</p> <p>1 総合技術高校の設置 更級農業高校の農業科、松代高校の商業科及び屋代南高校の家庭科を統合し、新たな学科を加えた総合技術高校の設置は賛成です。新たに加える学科については、生徒の将来がかかっており重要なことです。十分検討を重ね決定していただきたくお願いします。設置校は、好条件が揃っている更級農業高校が最適と考えますのでお願いします。</p> <p>2 中山間地存立校 既に地域と連携し特性を取り込んで少人数学習に成果を上げている坂城高校の維持については、工業系含みで賛成です。</p>
8	<p>「意見・提案書(案)」内の該当ページ (第Ⅲ章 2(3)9ページ)</p> <p>説明だけで、現場の声を実際に聞いていないということを知り、驚きました。現場の教職員、生徒さんたちの声をきき、さらに生活指導、生徒会、クラブ活動の状況についても統合前との比較をきちんとし、第4通学区に総合技術高校が必要か検討して欲しいです。</p>
9	<p>「意見・提案書(案)」内の該当ページ (4、9、10ページ)</p> <p>旧4通学において設置されている専門学校3校がそれぞれの専門性を生かし、連携し地域に貢献していくことができる総合技術校の設置を希望します。専門性を高めるために教育課程はできるだけ現在の教育課程を残していくことが望ましいと思います。しかし、マーケティングも視野に入れながら、農業・商業・家庭の連携・協働できるカリキュラムが必要になると思います。屋代南高校ライフデザイン科は、入学後フードデザインコースとファッションデザインコースに分かれ、専門科目を学習しますが、これからの社会のニーズを考えると双方のコースの存続が大事だと思います。フードコースは農業と連携し、商品開発などが可能。ファッションコースは、現在も千曲市に「らくらくねまき」の寄贈を行っていますが、高齢者に向けた衣服の製作はこれからの高齢化社会において更に必要性が高まると思います。高齢者1人1人のニーズに合わせた衣服は既製服では対応が難しい。ライフデザイン科の地域への貢献を考慮し、ライフデザイン科両コースの存続を希望します。</p>

シート	ご意見
10	<p>旧第4通学区の将来像としては基本的に一極集中は避けなければなりません。最近では鉄道沿線の学校に集中する傾向が見受けられますが、全体的な地域バランスを考慮した実態調査が必要であり、現行の流れ等で単純に進行すれば益々地域格差が助長するばかりか将来的には予想もしない過疎化の進展にも繋がりがかねません。学区内全体のバランスを最優先に考えて慎重な判断をお願い致します。</p>
10	<p>旧第4通学区の将来像としては、最近の志願者状況等を踏まえた場合、鉄道沿線の学校に集中する傾向が見受けられます。県民生活を考えた場合、非常に減退的な傾向に繋がりが、益々地域格差が広がり、公共交通機関をはじめ、将来的には想像も出来ない過疎化の進展にもつながりかねません。学区内のバランスを最優先に考え、均衡を保つためにも鉄道沿線校の定員減等を視野に入れ、慎重な判断をお願い致します。</p>
11	<p>◎松代の風土→P4 松代の地は、幕末の思想家、科学者佐久間象山の「国を治めるには学問を盛にすることの」学政意見書により松代藩文武学校が開設され、その後この地からは各分野で大きな偉業を挙げた人達が排出されている。</p> <p>◎総合学科の必要性→P11 旧第4通学区内の職業科は、更級農業高校、松代高校、屋代南高校3校があり、犀川(?)以南の3校統合の総合学科を松代の地に置き、更級農業高校は、松代高校のサテライト校とする。 就職する高校生には、職業科が必要である。</p>
12	<p>「意見・提案書(案)」内の該当ページ (6、8ページ) 旧第4通学区からの流出については、交通の利便性と、中学卒業生数に対して旧4通学区高校総募集定員が少ないため、他地区に流れる中学生が多くなっています。 決して、魅力ある学校が少ないから流出増になっているわけではないことを前提にすべきだと考えます。また、再編統合を解決策に据えるのではなく、少人数学級の構想の中で検討していく必要性を感じます。</p>
13	<p>「意見・提案書(案)」内の該当ページ (8～11ページ) 少子高齢化社会における高校の再編統合の動きに関しては、やむを得ない側面があることは確かだと考えています。しかし、それは経済効率的な側面から語られることが多く違和感を覚えます。 例えば生徒数〇名に要する公的費用(教職員の数、建物の維持管理費用など)を出来るだけ最小化するというような考え方は、公教育にはなじみません。そもそも地域における学校の位置づけを考えた場合それは生徒が学習をする場であるというだけでなく地域文化の発信地としての役割があることを忘れてはならないと思います。地域にある文化行事に対して地域の高校生としても積極的に関与するとともに地域の歴史などに関しても歴史研究者に協力する形で調査研究を行うことが出来るのは地域高校の特異性でありなくてはならない側面と考えます。 また新型コロナ禍の下で義務教育では少人数学級への転換が図られようとしています。この流れは中等教育にも必ず及んでくるものと思われます。そうすると集中、統合から分散型の動きが必然的に図られることでしょう。その時に再び分散するよりは今から中規模数を確保し利点をどのように伸ばすかを考えるほうが良いと思います。とにかく教育という国民全体の共有財産(社会的共通資本)を効率優先、株式会社の経営視点のような立場だけで考えるのは、愚の極みです。</p>

※ 「旧第4通学区の高校の将来像について意見・提案書」に対する意見募集は、以下のように実施しました。

【期 間】 令和3年6月21日(月)～令和3年7月20日(火)

【対象地域】 長野市、千曲市、坂城町

【対 象 者】 小学校の児童・保護者・教職員、中学校の生徒・保護者・教職員、高等学校の生徒・保護者・教職員、一般住民

※ 13名の方から15シート、22件のご意見をお寄せいただきました。